

# 事務長会会報

第1号

平成25年10月18日(金)

事務長会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。10月になり年度半ばが過ぎました。やっとなか、もう過ぎたか、思い思いの半年を過ごされたかと思えます。朝夕はとても過ごしやすくなったものの、日中はまだまだ暑い日が続きます。体調管理には十分お気をつけください。

さて、事務長制3年目を迎え、会として、共同実施のリーダーとして充実した活動、または、新しい活動を模索して実践されているところだと思います。私たちを取り巻く環境が、一変し、事務長に期待されるものが何か、ひしひしと感じられているのではないのでしょうか。

とはいえ、我々だけではなく、教育改革そのものが進行しており、しっかり足下を見つめ、学校事務と教育課程の連携を強化しながら、事務長として教育に寄与できるよう、活動を推進していきましょう。

## 第1回事務長研修会

平成25年7月23日

佐賀市立図書館 多目的ホール

講演 大分教育センター

所長 梶原 敏明 「評価と人材育成について」

### 教職員評価システムとは学校の教育目標達成のためのツール

教職員評価について研修をしました。大分県では、相対評価で実施されています。

#### ◎評価の要素

能力
○企画・計画力
○学習指導力
○児童生徒指導力
○コミュニケーション能力
○40歳以上 知識理解
リーダーシップ

姿勢・意欲
○責任感
○規律性
○協調性
○積極性

実績
○説明・調整・判断
○創意・工夫

#### ◎評価者

#### の心構え

- 評価を通じて学校マネジメントを行う
- 厳正な対応
- 評価者と被評価者の信頼関係の構築
- 時間外勤務を助長しない
- 私情を排除

学校の教育目標達成のために、評価と人材育成の連携が重要です。評価については、上記の通りです。人材育成に関わっては、個々の自己目標が関係します。「自己目標申告書」を年度当初に提出しなければなりません。その目標設定を正しく導く必要があります。

例えば我々の共同実施でいえば、計画書により、重点目標は何か、担当は何をすべきか、できるだけ明確に説明しておかなければなりません。

目標設定には、努力はしなければならないものの、必要以上に無理をしないで達成できるものになります。段階的目標も必要で、スケジュール性のあるもの、もちろん学校目標に沿ったものであることも重要です。具体的な方策や、取組内容も設定しやすいものが重要です。

事務職員としては、学校目標と自己目標の関連、共同実施との関連と目標設定しづらい面もあります。しかしながら、事務長として、自己目標を正しく活用してもらえよう支援し、人材育成に真剣に取り組まなければなりません。

## 第2回事務長研修会

平成 25 年 10 月 2 日

佐賀市立図書館 多目的ホール



講演 前春日市教育委員会学校教育部長  
現福岡県自治振興組合  
専門員 工藤 一徳

### 「学校事務職員と教育委員会」 — 自立的学校経営と事務局改革の協働 —

この研修会は、冒頭工藤氏も言われましたが、極めて画期的な研修会が実現しました。全県下の市町の教育委員会職員と学校事務職員（事務長）が、一同に会し、研修会を行うことができたのです。同じ市町では、お互い喧々ガクガクしながら教委側は多忙感、学校側は ストレス感を抱いていますが、その課題の解決策と一緒に研修できる機会の第1歩を得たことはとても有意義ではなかったかと思えます。

さて、春日市はコミュニティー・スクールの先進地と言うことは聞いていましたが、従来 of 行政と教育の枠組をこんなにも取り払った形態が実際あるのかと思ひ、とても新鮮な気持ちで話を聞くことができました。

### 教育委員会改革の3本の軸

- ① 学校、家庭、教委の連携
- ② 定型業務のスリム化
- ③ 権限移譲

市町教育委員会の多忙化は、喫緊の課題として検討して欲しいということ、余裕がなければ学校への指導助言、対応等が滞り、教育活動の停滞に繋がるなどの助言をいただきました。

市町教育委員会と学校とのたくさんの課題を確認し、改善へ向けて、協力、協働できる方向性を共感できた研修でした。

## 調査研究部の取組中間報告

調査研究部では、先に協力いただきましたアンケートについては、ただ今回収中です。同じようなアンケートを何回となくされた方もあったと思いますが、状況は徐々に変わっていますし、立場も変わっています。最新の状況を提供し、これからの共同実施等の活動の推進に利用できるように、分析報告を検討していますので今少しお待ちください。

ご協力ありがとうございます。

また、年次休暇整理簿、休暇承認簿、職務専念義務免除承認簿について、地区によっては、縦、横等まちまちの様式でしたので、統一するよう検討しています。

## 講演の感想

第2回研修後のアンケートに、たくさんのご協力をいただきました。今後の活動、研修会の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

以下紙面の関係で一部ではありますが紹介します。

### 教育委員会関係

- ・ 工藤さんの教育委員会で取り組んでこられた状況、また教育委員会事務局の改革を行うに至った状況を詳しく聞くことができ大変参考になった
- ・ 春日市の実践はすごいと思った。
- ・ 校長として勤務していたことを考えると、校長の夢だけでなく（地域、保護者の希望）の実現を目指して権限移譲ができれば。
- ・ 一度に全部とはいかなくても少しずつでも実現していけたら
- ・ 工藤先生が説明された春日市教委の改革のスタンスに同感すると思った。今日の学校運営は学校だけにまかせてはなりたないと思います。今からは学校、行政、地域、が協力しあって学校運営を行っていきたいです。
- ・ 予算の権限移譲など興味深く参考になった。
- ・ 具体例での話で的をえた内容であったと思います。
- ・ たいへん参考になりました。教育委員会全体で聞きたい研修会でした。
- ・ 地域づくりを最終目標とした教育委員会改革のために学校と事務局も意識をかえる必要があると強く感じた。
- ・ 学校現場と教育委員会の改革について、今後進んでくることが講演を聞いて理解できました。基本は子どもたちにいかに学校生活を有意義にすごしてもらおうかだと思います。
- ・ 「学校事務職員と教育委員会の共同歩調」が一番重要であると思った。その為には、お互いの話し合い、コミュニケーションが大切ではないか。また、予算の権限移譲について多久市では予算の執行は移譲しているが予算のパイも少なく学校側も自由に執行できないと思われる。予算編成の段階で学校側の要望をよく聞き、ある程度学校側の要望を受け入れる必要がある。
- ・ 教育委員会に配属され1年の間、予算等の権限移譲、制度の見直し論を初めて耳にしたと思いました。実行できるとできないは別として、知ると知らないとは違うと思います。
- ・ 教員制度改革についての良い話が聞けました。事務局の活性化の必要性を感じました。
- ・ 事例を出すのではなく、もう少し深く掘り下げてほしい感がありましたが関心するところもありました。
- ・ 講演を終えて市町委員と各学校の事務長、職員との連携が今後ますます重要となることが再認識された。これまでも町予算の執行及び手当の認定等、また独自の研修の開催など共同実施を中心に行ってきたが、これからは、より関係を密に真に進むべき方向をしっかりと見定めて取り組まなければならないと思われる。
- ・ 改革に向けた3本の軸①連携②スリム化③権限移譲は意を同じくしました。ただ、権限移譲については、大きなハードルがあることも事実です。事務職員と市教委との合同研修会を行っています。財務部局を含めた合同の研修会等を通じて、共通理解と課題の共有をはかっていく必要があると感じました。
- ・ 鳥栖市が春日市に近づいてきていると思います。未だ、完成形にするには時間が必要ですが原形はできていると思います。
- ・ 市町の職員の方の話により県内の実態がよくわかりました。教委と事務職員が共に力を合わせる必要があります。協力体制を整えつついきたいです。
- ・ 色々なお話参考になりました。
- ・ 教育委員会の事務局事業スリム化について、お話をいただきありがとうございます。今後検討をしていきたいと考えています。県内の教育委員会の情報も聞けて助かりました。

### 学校関係

- ・ 2回目の話でしたが、今回は新鮮な気持ちで聞けました。
- ・ 教委の職員の立場、事務職員の立場からわかりやすい話をきくことができた。連携・協同により新たな展開ができると確信します。

- ・ 春日市で行われた、権限移譲について聞いて大変参考になりました。みやき町では校長には決議権があるが、事務長にも決議権を与えられると、今後事務処理が、スムーズに行くのではないかと考えた。
- ・ 内容は理想通り、実践あるのみ。
- ・ 佐賀市以外の市町の予算権限について、詳しく知ることができた。
- ・ 2度目の講演になりますが、問題点への注目改革への意欲などすばらしい事ばかりでした。今後の参考にさせていただきます。
- ・ 立場がいろいろあるなかで、権限移譲等深く考えさせられる講演でした。
- ・ 工藤様講演に力を得た思いです。教育委員会事務局とともに学校の自立性を高めるため努力したいと思います。
- ・ とてもよかった。市町教委の改革（権限移譲）が進むように願う。
- ・ 決断ができるのは先へ先へとどんどん進み決断できないところは、何一つ変わらない。
- ・ 経験を基に力強い講演に説得力がありました。ほめられた佐賀県の良いところをさらにのびしていくよう、努力の必要性を感じた。今回の研修会の企画、とても良かった。
- ・ 大変有難うございました。次回もよろしく願います。
- ・ 共同実施の導入をきっかけで事務職員のあり方が依然と違うということを伝えていきたい。いけたらと思っています。
- ・ 趣旨は十二分に理解します。実行するかが問題ですね。
- ・ 学校事務職員の思いが詰まった講演で大変良かったです。この内容が市町教委事務局で還流されることを願います。
- ・ 6月の県事務研究大会に続いて2回目の講演であったが、聞くたびに何とかしなければという気持ちになった。
- ・ 継続してほしいです。
- ・ 学校をしっかりと理解したうえで、改善に取り組む内容はよく分かり、とてもよかったのではないかと。
- ・ 予算編成等の権限移譲を推進できれば、市町教委の多忙感が変わる。実行されていて驚きました。
- ・ 学校をしっかりと理解した上で、各種改善に取り組む内容はよくわかりとてもよかった。
- ・ 権限移譲は実現しましょう。
- ・ 工藤前部長のお話は、説得力があり大変興味がありました
- ・ 以前から思っていることを実践されていてすばらしい。厳しい予算状況もあり、あきらめムードもあったが、また前進していきたい。
- ・ 大変有意義に聞かせてもらいました。協議も発言が多く大変感心しました。明日からの業務に生かしていきたいと思いました。
- ・ 何回聞いてもすばらしい。室員へも聞かせたい。事務長の総合力、事務職員の総合力、教育委員会の総合力が問われている。
- ・ 教育委員会と学校現場の協働が必要であり、権限移譲は、必要不可欠であることを改めて感じた。
- ・ 事務局職員の方と同じ演題を聞くことで何かが変われる期待ができました。
- ・ 内容を前向きに是非教委と協議し前進したい。
- ・ 教育委員会改革が佐賀県から起こるのが楽しみです。その働きかけも行っていきたいと思います。
- ・ 今必要なこと、思っていることも実践していくことが大切。教委との協働が大切なことも再認識しました。
- ・ 6月に聞いたときと同じく感銘を受けた。支援室の柱は、①権限移譲②教員支援③事務改善の3本でこれをうまく回していくのが支援室のやるべき仕事と思っているため、市当局がこのような方向性を理解してくれることを期待している。
- ・ 権限移譲、市学校訪問の廃止、研究指定校休止についてはなるほどと思いました。定型業務のスリム化から政策形成機能強化を図るということもなるほどと思いました。
- ・ 佐事研大会に引き続き工藤様のお話を聞くのは2回目ですが、今回は市町教委の方と一緒に聞いたのがとても有意義でした。工藤様の言われるとおり、事務の精選や権限移譲がうまくいけば、市町教委の業務負担は軽減するし学校の機能も高まります。どこの市町でも、改善できたら多くの行政、学校改革となり、どちらも経営・運営にとっても寄与できるようになると思います。今後は是非進めていきたいものです。
- ・ 2度目の話ではあったが、たいへんためになった。今後の教育の改革に繋がればよいのですが。
- ・ 市町教委職員を対象とした研修は皆無に等しく、今日は大変有意義な研修になったと思います。我々事務職員にとっても予算の権限移譲等元気をもらった講演でした。